

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



2019年10月2日【第1155回】



クラブ会長ターゲット
「友情を育み、地域社会に貢献する」
"Foster friendships,
Contribute to the community."
2019-2020年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤正樹



国際ロータリーテーマ
「ロータリーは世界をつなぐ」
"ROTARY CONNECTS
THE WORLD"
2019-2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

創立：1994年8月8日
会長：佐藤正樹
副会長：高橋映治
幹事：杉浦孝浩
会報委員長：勝間田健一

10月2日の卓話	9月21日の出席率	10月9日の卓話
「イニシエーションスピーチ」 当クラブ会員 柴田 剛様	会員在籍者数 40名 会員出席者数 19名 会員欠席者数 21名 本日の出席率 50.00% 前々回訂正出席率 75.00%	「特別休会」 (東分区懇親ゴルフ大会 開催日の為)

《第1154回移動例会報告 2019年9月21日(土)》
会場:ホテルイースト21 東京
21階「日本料理 さざんか」

2019~2020年度 国際ロータリー第2580地区
東分区インターシティ・ミーティング
2019年9月21日(土)
ホテルイースト21 東京 イベントホール及びプラザ



東分区 IM 御礼状

令和元年9月吉日

国際ロータリー第2580地区
東分区 各ロータリークラブ
会長・幹事 各位

東分区ガバナー補佐
齊藤 榮一
嶋村 文男
田村 純治
東分区IMホストクラブ
東京江東ロータリークラブ会長
大澤 栄一

謹啓 秋冷の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、9月21日に行われました2019—2020年度 RI2580地区東分区インターンティミーティングに際しましては、ご多忙のところご出席頂き、誠に有難う御座いました。当日は、当地区初めての土曜日開催、そして11時という朝早いロータリーデーから夜遅くまで、各クラブの皆様にご参加頂きまして、有意義な会合をもつことが出来たこと、心より感謝申し上げます。

地区役員をはじめ各クラブの会員皆様のお蔭をもちまして、無事恙なく終了できましたこと、ホストクラブ一同、皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

ホストクラブとして行き届かない点多々あったかとは存じますが、失礼の段お詫び申し上げますと共に、ご支援いただきましたことに対し厚く御礼申し上げます。

末筆ながら、今後の貴クラブのますますのご発展と、クラブ員皆様のご健勝をお祈り申し上げ、略儀ながら書面にて御礼申し上げます。

敬具

会員インタビュー

貴方の会社、もしくは貴方の仕事の「目的・目標」を、各46文字以内で教えて下さい。※会員名簿順

榎本 隆文 会員

会社の「目的」

- ・配達などを通じて、より地域に密着する
- ・地域の人が困った事があれば、何でも出来るだけ対応する

会社の「目標」

- ・名の通り、我孫子市の情報を纏められるようにする
- ・世間の人に新聞屋でも榎本ならと認めてもらう

ご協力、有難う御座いました。

10月9日(水)は、
東分区懇親ゴルフ大会開催日の為、
当クラブ例会は特別休会です。

◇RI ニュース 2019年8月28日◇

ナイジェリアでポリオ根絶に向けた画期的進展

8月21日、ナイジェリアでは野生型ポリオウイルスによる症例が最後に報告されてから3年が経過しました。これにより、来年には世界保健機関(WHO)アフリカ地域全土がポリオフリーとして宣言される可能性があります。

ナイジェリアでのこの画期的進展は、国内外からの資金、何千人もの保健従事者による尽力、北部での情勢不安によりこれまでワクチンを届けることができなかった地域での予防接種戦略も含め、各方面での努力が実を結んだ結果です。

ロータリーのインターナショナル・ポリオプラス委員長であるマイケル K. マクガバン氏は、次のように述べています。「ロータリー、世界ポリオ根絶推進活動のパートナー、ナイジェリア政府は、予防接種と疾病検知システムを強化してきました。ナイジェリアでこれまでワクチンを届けるのが困難だった地域で、より多くの子どもたちに予防接種ができるようになりました。ナイジェリアのロータリー会員が重要な役割を果たしていると述べるマクガバン氏は、「ロータリアンはポリオ根絶への認識向上、政府へのアドボカシー、安全な水を危険な地域にもたらすといった補足的な基本的保健ニーズへの取り組みにも尽力した」と話します。

ナイジェリアは、アフリカ最後のポリオ常在国です。アフリカで野生型ポリオウイルスの根絶が認定されれば、WHOの6地域のうち5つにおいてポリオフリーが達成されることとなります。同じく野生型ポリオウイルス常在国であるアフガニスタンとパキスタンでは、ウイルスの伝搬が現在も阻止されていません。

ロータリーのナイジェリア全国ポリオプラス委員長であるツンジ・フンショ氏は、ナイジェリアでの達成を評価しつつも、ロータリー会員が祝賀するには時期尚早であると警鐘を鳴らしており、ナイジェリアですべての子どもに定期的な予防接種を実施することが引き続き課題であるとしています。

フンショ氏は次のように述べています。「ナイジェリアに野生型ポリオウイルスが再び持ち込まれないようにすることが、極めて重要です」

そのためには、ロータリーによる積極的なアドボカシー活動と予防接種キャンペーンへの認識向上を継続し、ロータリー会員が引き続き募金を行うことが必要であるとフンショ氏は話します。ロータリーはこれまで、ナイジェリアにおけるポリオ根絶活動に対し、2億6800万ドルを寄付しました。

「ポリオのない世界を夢見た最初の団体として、ロータリーはこの約束を守ることに献身しています」とマクガバン氏。「ナイジェリアでの進展はこの目標への大きな前進ですが、パキスタンとアフガニスタンでも同様の進展が見られるように、活動の勢いを保たなければなりません」